



### 兒童劇革新論

淺野 生

私は、兒童劇の指導目標は、出演兒童をして舞臺をグラウンドか原っぱのやうな氣もちに導き、自由に跳躍させ、劇中の生命の飛躍を忘れさせるにあると思ふ。それによつて見ている兒童や大人を、劇中の環境に溶けこませることができるとあるから、それには假面と背景が重要な役割をもつ私の劇團では、高さ最高十尺、幅二十五尺の背景装置と、高さ十尺、幅四尺の側面背景（いわゆる袖としふ）を、背景の標準型にしてゐる。

材料は全部紙が基礎である。その取扱ひは尋常四、五年の生徒でもラクにできるし、装置時間も五分間あれば完全にできる。そしてこの背景の特色は、絶対に破れないこと、消耗品とならず、備品として、毎年使用できること、製作費がかからぬことであつて、小學校などで充分採用できるのである（製作法をくわしく書くことは本文の目的でないから他日にするが）この背景装置が小學校に普及したならば、小學校の劇

### 新妻久満夫選

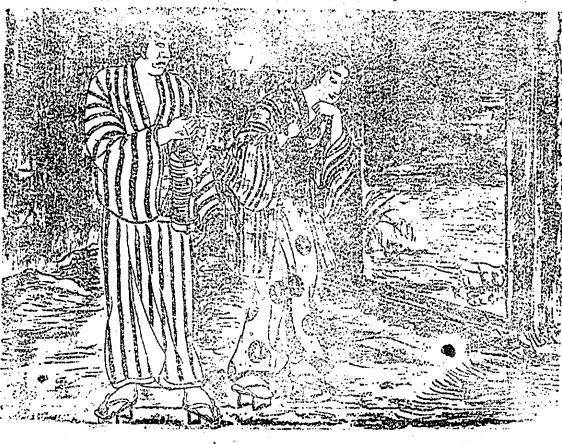
○はらばに座敷のびて妹等は、繪本よみお  
○梅雨のこの日を  
○集ひ舞ひ白き胡蝶の羽根舞、雨上りたる庭  
○前倉の瓦の音を夏深き、底に枯れし五月菖蒲  
○竹節のはの青暗き鏡中に、てん〜咲ける菫  
○一しきり精米機械の音響く、人らもたえてう  
めくが如し  
○入梅にバラの若葉延びみわた、蕾五つも咲き  
揃ひたり  
○秘めやかに御寺の鐘は静かなり、疲れぬらい  
える思ふ  
○小評作者はあまりに無難な作に歌を詠む。そ  
れも言葉にこだらけでよいかも知れぬが  
日本の國の言葉には各々特異な響きや意義を有  
つてゐて、それが格や調の上に大なる影響を  
與へるものである故にやがて相當の推敲は是  
非必要である。素玉であり原生林である作者  
の自家を頌ひ、四、五訂正せり。

### 短唱

木津茂太郎  
星の詩を聞いた  
詩を聞いたと何になら  
うか  
さびしさを消されようか  
ともたら  
君は俺を邪魔氣だといつ  
た  
さう云はれたことさび  
し  
ひとり口笛をふく  
口笛が何處までひびくか  
青々としたの野ぐさ  
町の空には山脈線  
わかれた人のこんな  
にこひしいのは  
なせだらう  
なせだらう

### 浪人長屋

日岐武志作  
月草道子書



「お新は、お前の色男、鐵彌に、お新はこつぱどくはねつけられてゐるのだ。かなはぬ戀の怨みからお前の親の仇、この玄内の、今は女房になつてゐるんだ」

「お新は、お前の色男、鐵彌に、お新はこつぱどくはねつけられてゐるのだ。かなはぬ戀の怨みからお前の親の仇、この玄内の、今は女房になつてゐるんだ」

「お新は、お前の色男、鐵彌に、お新はこつぱどくはねつけられてゐるのだ。かなはぬ戀の怨みからお前の親の仇、この玄内の、今は女房になつてゐるんだ」

### 芝蘭集 六

水 鶏 夏 節「夏」 碧 州 直 元

水 鶏 夏の夜の月さ、の門を明けよとて叩く  
水鶏のひまのなき哉  
茅 蠅 夕立の雨れゆく見れば入日さす山の彼  
方、茅蠅を鳴く  
夏 燈 火 夏の夜は池に浮へる燈火の影きらめき  
て涼しかりけり  
虫 買 せよと呼ぶ翁の聲も消たれけり振立て  
鳴くこの鈴虫は  
池 舟 ほの見える涼しかりけり夏の夜の池に  
漂ふ舟の漁火  
里 夕 立 落ぬべきはひななりけり雲昇る峯より  
下す里の夕立  
橋邊 一筋に渡る橋の上下を千々に亂れて

紅葉深 行く秋の向んとてか山姫の心深くも

紅葉深 行く秋の向んとてか山姫の心深くも  
染めしもみぢ葉  
残 菊 色々の花のともめに紐解きて霜結ぶま  
下句菊散  
稻 穂 何はあれど秋の垂穂の初穂をば先づ皇  
神に捧げまつらむ  
山 時 雨 山蔭は時雨降るらし袖濡れて歸る樵夫  
の寒けなる哉  
名 所 鹿 三笠山としてそれと思はれど鹿の鳴  
く音に濡る、袖哉  
夕 煙 夕食たく煙立たすは木隠れの賤の伏家  
はいかて知らまし  
菊 新 花 九重の庭の白菊日にそへて咲き優り行  
く君が御代哉

たより (民謡)  
小 濱 牧 泉  
お山は雪で寒むごころ  
海邊は花でござらうに  
約と將棋と口笛が  
此の頃うまくなり候  
飲まない積りで奉候が  
飲まずにや生甲斐無く候  
山が荒ればははさまの  
海邊の家を思ひそら  
酒は飲んで飲まないでも  
子は子に候 泣け候  
日 △米國獨立(一、七、  
七六) △徳川家定薨  
月(安政五) △滿洲視  
察中の真崎參謀次長等奉  
山嶺で匪賊に襲はる△滿  
洲國軍政權を獨立す(昭  
和七)

「お新は、お前の色男、鐵彌に、お新はこつぱどくはねつけられてゐるのだ。かなはぬ戀の怨みからお前の親の仇、この玄内の、今は女房になつてゐるんだ」

「お新は、お前の色男、鐵彌に、お新はこつぱどくはねつけられてゐるのだ。かなはぬ戀の怨みからお前の親の仇、この玄内の、今は女房になつてゐるんだ」

「お新は、お前の色男、鐵彌に、お新はこつぱどくはねつけられてゐるのだ。かなはぬ戀の怨みからお前の親の仇、この玄内の、今は女房になつてゐるんだ」

# ホシチエンストアー平支部

### ホシチエンストアー

消化 胃腸薬

15万人 ¥0.30

1) 「ホシチエンストアー」は芳香性、苦味性、苦味性、苦味性を適量に配合し、消化促進の活動を促進せしむるものであります。

2) 「ホシチエンストアー」は消化促進剤たる「デアスターゼ」と蛋白質消化酵素なる「ペプシン」とを含有し、薬劑自身も胃腸に食物の消化に任するものであります。

3) 「ホシチエンストアー」は活性炭素の錠剤であり、胃腸障害の原因たる有毒瓦斯、毒質等を吸着して体外に排出します。

4) 腸胃障害としてこの三種の苦味性苦味性に対する三つの治法を示すものであります。

5) 即ち消化器に向つて命令したり、おどしたり、すかしたりして十分に其の機能を發揮せしめ健全なる胃腸を保持し復するもの「ホシチエンストアー」。消化不良を救助して胃腸機能を恢復せしむるもの「ホシチエンストアー」。胃腸内に有毒有害の物が存在する時、悉く之を吸着整掃するものが「ホシチエンストアー」。

### ホシチエンストアー

脚氣諸症最新薬

1) 文藝家としての自筆の書は、小説、詩、演劇、防衛の作用を持つべきものであることは、自筆の書であるが、問題は自筆の書にあり、そして又一時の苦痛を除くがために、自筆の書を用いて、自筆の書を作つてはならないとあります。

2) 自筆の書は、自筆の書を用いて、自筆の書を作つてはならないとあります。

3) 自筆の書は、自筆の書を用いて、自筆の書を作つてはならないとあります。

### ホシチエンストアー

眼病薬

1) 日本赤十字社の自筆の書は、自筆の書を用いて、自筆の書を作つてはならないとあります。

2) 自筆の書は、自筆の書を用いて、自筆の書を作つてはならないとあります。

3) 自筆の書は、自筆の書を用いて、自筆の書を作つてはならないとあります。

### ホシチエンストアー

東京・五反田 星製薬株式会社

電話 四二九番

